

## ま え が き

この度、東京学芸大学国際教育センターでは、『在外教育施設における指導実践記録 第43集』を刊行しました。刊行に当たっては、在外教育施設での任期を終えて帰国後間もない先生方の全面的なご協力を頂きましたことにお礼申し上げます。

近年、在外教育施設では、子どもの実態や教育要求の多様化への対処、児童生徒を確保するための魅力ある学校づくり、危機管理対策など、極めて多岐にわたる多くの課題を抱えてきております。加えて2020年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じるという新たな課題もありました。この状況のなか、各在外教育施設では現地の実情に応じ、先生方のさまざまな創意工夫のもと充実した教育が行われております。

この貴重な実践をまとめた『在外教育施設における指導実践記録 第43集』が、今後、派遣を希望される方々をはじめ、海外子女教育に関心を持たれる方々に、活用していただけることを願います。

なお本センターは、現在、「海外・帰国児童生徒教育」、「外国人児童生徒教育」、「国際理解教育」の3領域、「多文化共生」「市民性教育」「学習・発達」「言語・心理」「外国人児童生徒教育」の5分野において、所員が調査研究、カリキュラム・教材の研究・開発、研修機会の提供、教育指導相談などの専門的活動を、学内外の専門家に協力を仰ぎながら積極的に展開しております。

本センターは、日本の教育の国際化に対応するために、学内外の教育者・研究者はもちろんのこと、どなたにもご利用いただけます。また、ホームページなどを通して資料や研究成果なども積極的に公開しております。どうぞ、お気軽にご利用下さい。

2021年3月  
東京学芸大学国際教育センター長  
竹鼻 ゆかり